

～令和6年度事業報告書～

1. 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会等の定期的開催

①理事会、評議員会、監事会の開催

＜理事会＞執行機関である理事会を4回開催しました。

開催日	会場	内容
5月28日 (火)	社協会議室	議 案 第1号 令和5年度事業報告について 第2号 令和5年度一般会計決算について 第3号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会配食サービス事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について 第4号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会給食サービス事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について 第5号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会移送サービス事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について 第6号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会社会福祉基金の一部取り崩しについて 第7号 令和6年度一般会計補正予算(第1号)について 第8号 役員候補者について 第9号 評議員候補者の推薦について 第10号 評議員会の招集について 報 告 第1号 会長の職務執行状況について
10月17日 (木)	健康福祉センター	議 案 第1号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会嘱託職員及び非常勤職員の雇用等に関する就業規程の一部を改正する規程の改正について 第2号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会山北町地域包括支援センターの業務に携わる嘱託職員及び非常勤職員の活動及び賃金等に関する要綱の一部を改正する要綱の制定について

		第 3 号 評議員候補者の推薦について 第 4 号 評議員選任・解任委員会の招集について 報 告 第 1 号 県指導監査の結果について 第 2 号 厚生年金保険料未納問題の経過報告について
12 月 13 日 (金)	社協会議室	議 案 第 1 号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について 第 2 号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について 第 3 号 評議員会の招集について 第 4 号 第 10 回社会福祉大会について 第 5 号 顕彰規程による顕彰者の決定について 第 6 号 福祉スローガンの決定について 報 告 第 1 号 部会の報告について 第 2 号 厚生年金保険料未納問題の経過報告について 第 3 号 会長の職務執行状況について
3 月 18 日 (火)	社協会議室	議 案 第 1 号 令和 6 年度一般会計補正予算(第 2 号)について 第 2 号 令和 7 年度事業計画について 第 3 号 令和 7 年度一般会計予算について 第 5 号 評議員会の招集について 報 告 第 1 号 厚生年金保険料未納問題の経過報告について

＜評議員会＞議決機関である評議員会を 3 回開催しました。

開催日	会場	内容
6 月 14 日 (金)	生涯学習 センター	議 案 第 1 号 令和 5 年度事業報告について 第 2 号 令和 5 年度一般会計決算について 第 3 号 社会福祉法人山北町社会福祉協議会社会福祉基金の一部取り崩しについて 第 4 号 令和 6 年度一般会計補正予算(第 1 号)について 第 5 号 役員の選任について

12月20日 (金)	生涯学習 センター	報 告 第1号 第10回社会福祉大会について 第2号 顕彰規程による顕彰者の決定について 第3号 福祉スローガンの決定について 第4号 厚生年金保険料の未納問題の経過報告について
3月26日 (水)	生涯学習 センター	議 案 第1号 令和6年度一般会計補正予算(第2号)について 第2号 令和7年度事業計画について 第3号 令和7年度一般会計予算について 報 告 第1号 厚生年金保険料未納問題の経過報告について

＜監事会＞社協事業の実施状況、会計を監査する監事会を開催しました。

開催日	会場	内容
5月14日 (火)	社協会議室	1. 令和5年度事業報告について 2. 令和5年度一般会計決算書について

②正副会長会の開催

理事会、評議員会が円滑に行えるよう、事前に会長、副会長、事務局で主要な会議の議案についての打ち合わせを4回開催しました。

③評議員選任・解任委員会の開催

評議員の選任を行うため、委員会を2回開催しました。

④役員研修会の開催（対象：理事、監事）

足柄上地区社協連絡会・西湘地区社協連絡会の共催で開催しました。

開催日	場 所	内 容
12月6日 (金)	開成町福祉会館	テーマ：災害時における地域協働による支援活動 講 師：静岡県社会福祉協議会地域福祉課係長 鈴木 貴之 氏 参加者：10名（山北町社協役員）

（2）事務局体制の強化

①職員の研修会等

職位や職務内容などに応じて計画的に経理研修や成年後見研修、生活福祉資金研修、高齢者虐待防止研修など各種研修に積極的に参加し、職員の知識の向上を図ることができました。

(3) 自主財源の確保

①社協会員の加入促進

賛助会員を増やすため積極的に事業所を訪問し、加入促進に努めました。

一般会員	2,909,300円
団体会員(18団体)	67,000円
賛助会員(158社)	696,000円
合 計	3,672,300円

②寄付金

寄付件数：16件(内、物品寄付5件)

寄付金総額：326,297円

③収益事業

◆広告料

会社数11社

広告料：50mm×85mm(5,000円) 6社

50mm×55mm(3,000円) 5社

広告料総額：211,000円

◆自動販売機

設置場所：山北町健康福祉センター1階&3階、ぐみの木公園2か所

収入総額：460,442円

◆マッサージ機

設置場所：山北町健康福祉センターさくらの湯 2台

収入総額：93,380円

◆有料駐車場

有料駐車場の場所：社会福祉協議会駐車場の一部

契約台数：5台

収入総額：228,000円

④善意の募金箱

JA 山北支店、岸郵便局、山北郵便局 8,322円

(4) 社会福祉基金の管理・運用

社会福祉基金設置規程に基づき、適正に管理・運用しました。

(5) 第6次地域福祉活動計画の進行管理

町と共同で設置している「山北町地域福祉計画等進行管理委員会」を3月24日に開催し、各事業や取り組みの進捗状況を確認し、評価及び計画推進に必要な事項を協議しました。

(6) 関係機関との連携

①役職員の他機関への参画

山北町及び関係機関からの要請に基づき、委員及び役員として参画しました。

②民生委員・児童委員活動との協働

民生委員・児童委員連絡協議会へ必要時に出席し、活動の協働を図りました。

2. 企画・広報事業

(1) 広報紙「社協やまきた」の発行

広報紙「社協やまきた」を発行（2か月に1回、年間6回発行）

社協事業（地域福祉活動）の周知や実施事業の紹介と報告、福祉情報の提供等を目的として発行し、全世帯、賛助会員、関係機関等に配布しました。

(2) ホームページの活用・充実

ホームページを定期的に更新し、各種事業などの情報発信に努めました。

(3) 社会福祉大会

社会福祉についての意識を高めてもらうことを目的として開催しました。

開 催 日	場 所	内 容
2月22日(土)	生涯学習センター	・福祉スローガンの発表と表彰 ・顕彰者 表彰（2団体） 感謝（2名、3団体） ・講演会 演題：『統合失調症がやってきた』 講師：松本ハウス 氏（漫才コンビ）

3. ボランティア活動事業

(1) ボランティアの発掘と登録の推進

町内のボランティア団体の活動について、町社協広報紙（社協やまきた）に掲載するとともに、ボランティア活動への参加を呼びかけました。

(2) ボランティア活動保険の加入促進

町内在住のボランティアに対し、保険料と同等額を助成して、ボランティア保険の加入手続きを行いました。

加入者数：１１７名　助成額：１９，７５０円

(3) ボランティア団体活動補助金の適切な交付

町社協へ登録している各ボランティアグループに対して事業を実施した分の助成を行いました。

◆ボランティア連絡協議会助成　１５０，０００円

◆ボランティアグループ助成（５グループ）１７９，４００円

(4) 手話講座の開催

「手話サークル虹」により、基本的な手話を用いて手話に触れていただきました。

開 催 日	場 所	内 容
８月 ８日 (木)	健康福祉センター	手話の普及・啓発のため開催。 手話で自己紹介やあいさつ、指文字を学び、手話以外のコミュニケーションの方法（筆談、身振り、口話など）を学ぶ。

※参加者数：６名

(5) 災害ボランティアセンター運営体制の整備

①災害ボランティアセンター研修会等の広域的な連携

ICT を活用した災害ボランティアセンターの運営に焦点をあて、様々な活用方法を学ぶ研修会に参加しました。

開 催 日	場 所	内 容
10月28日 (月)	松田町健康福祉センター	【講義】 Kintone のシステムを活用した災害ボランティアセンターの運営について 講師：神奈川県社協地域課 渡辺氏 【ロールプレイング訓練】 災害ボランティアセンターの各場面から ICT の活用を学ぶ～受付から帰着までの流れと Kintone の活用～ 講師：神奈川県社協地域課 渡辺氏・五十嵐氏・金井氏

※山北町社協参加者：会長及び職員５名

4. 地域福祉推進事業

(1) 高齢者等の生きがい事業の実施

①いきいきサロンの実施

高齢者が誰でも自由に参加して自分自身の生きがいと楽しい仲間をみつける場として12回実施しました。

実利用者数：7名～12名/回

②ニコニコ健康体操

高齢者の健康づくり推進事業として、健康福祉センターにおいて実施しました。

参加者が多く、会場に一回で全員を収容できないので、火曜日コース（2グループ）と水曜日コース（2グループ）に分けて実施しました。

◆火曜日コース Aグループ 実利用者数：24名～35名/回

Bグループ 実利用者数：24名～32名/回

◆水曜日コース Cグループ 実利用者数：24名～35名/回

Dグループ 実利用者数：29名～34名/回

(2) 小地域サロン活動への支援

小地域サロン実施団体へ助成金を交付し、活動を支援しました。

交付団体：8団体

交付金額：204,000円

(3) レスパイトサービス事業の実施

障がい児者が、施設や学校の長期休暇中にレスパイト事業を実施している団体（まるやまわかくさの会）に対して、事業への支援を実施しました。

開 催 日	場 所	備 考
8月9日（金）	東京方面	参加者：障がい児者6名

(4) 地区社協活動の支援

①地区社協活動を支援するための助成金交付（8地区社協）

地区（住民）福祉協議会へ助成金を配分し、活動を支援しました。

◆地区福祉協議会助成金 2,230,000円

助成金の内訳：町1,700,000円、社協530,000円
人口比、会費徴収比により各地区の配分額を決定

◆地区在宅支援活動費：280,000円

（活動費の内訳：35,000円×8地区）

②地区社協活動の広報

健康福祉センター西側通路に、地区（住民）福祉協議会の広報紙を掲示できるコーナーを設け、町民の皆さんの目にとまるようにしました。
また、ホームページに広報紙を掲載し、活動情報を広報しました。

（５）福祉団体への助成金交付（４団体）

町内にある各福祉団体の福祉活動事業に対し、助成金を交付しました。

団 体 名	助 成 金
山北町老人クラブ連合会	250,000円
まるやまわかすの会	30,000円
NPO法人KOMNYやまなみ工芸	30,000円
ともしびショップさくら	200,000円

（６）福祉団体活動の活性化を促す協働事業の実施

①世代間交流事業の実施（老人クラブ連合会と子ども）

◆ポッチャで遊ぼう（老人クラブ連合会・一般社団法人「あすぽ」共催）
高齢者と子どものふれあいを目的として開催しました。

開 催 日	場 所	内 容
2月 2日 (日)	健康福祉センター	参加者：44名 (お昼は老連女性部が作った七草がゆ)

◆収穫祭〔ミニトマト〕（老人クラブ連合会の協力）

老人クラブ連合会の園芸部が、「生きがい農園」で栽培したミニトマトを、
やまきたこども園の園児に収穫してもらいました。

開 催 日	場 所	内 容
6月24日 (月)	生きがい農園	ミニトマト収穫 参加者：30名 (園児：25名 老人クラブ5名)
7月9日 (火)	生きがい農園	ミニトマト収穫 参加者：16名 (園児：12名 老人クラブ4名)

②ともしびショップ「さくら」の支援

健康福祉センターに職員を常駐し、運営等の支援を行いました。

③やまぶき学級の開催

「健康で明るく生きがいをもって高齢社会を生きる」ことを目的として、
町福祉課、生涯学習課との共催で開催しました。

開 催 日	場 所	内 容
10月 4日 (金)	生涯学習センター	＜開講式＞ 講演 ～消費者トラブルにあわないように！～ 南足柄市消費生活センター相談員
10月11日 (金)	生涯学習センター	実技 ～しなやかな心と体づくりのための健康操～ 神奈川健康財団健康運動指導士
10月18日 (金)	生涯学習センター	講演 ～人権を考える～ 県西教育事務所足柄上指導課社会教育育主事
10月25日 (金)	山梨県方面	施設見学 ①リニア見学センター ②桔梗屋工場見学
11月 1日 (金)	生涯学習センター	芸術鑑賞 ～日本の大道芸～ 大道芸研究会 ＜閉講式＞

※参加者人数：45名（延べ182名）

（７）福祉教育の推進

①福祉体験学習の実施

◆高齢者施設での体験学習（対象：山北中学校の生徒で希望者）

次代を担う子供たちの福祉への理解や関心を高めることを目的とし、夏休み期間を利用して、バーデンライフ山北、すずらん・アミーゴ、あずみ苑山北の3施設で、1日コースの施設実習を実施しました。

開 催 日	場 所	参 加 人 数
7月30日 (火)	バーデンライフ山北	3名 （3年生：女子2名） （1年生：女子1名）
8月 7日 (水)	すずらん・アミーゴ	2名 （3年生：男子1名） （1年生：女子1名）
8月 9日 (金)	あずみ苑山北	3名 （2年生：女子1名） （1年生：女子2名）

◆ボランティアによる講座（対象：山北中学校3年生全員）

中学校の福祉教育に協力するため、ボランティアを派遣しました。

開催日	場 所	内 容
2月26日 (水)	山北中学校	・車いすレクダンス矢車草の会による「車椅子講座」 ・牧田洋子氏などによる「点字講座」 ・手話サークル虹による「手話講座」 参加者：69名（3年生）3グループに分かれて体験

②認知症サポーター養成講座

山北中学校3年生を対象に、認知症高齢者等にやさしい地域づくりのため、認知症に対する正しい知識や対応方法を学んでもらうために実施しました。（63名参加）

（８）行事用器材貸出事業

地域福祉活動の活性化を図ることを目的に、地域に開かれた交流会などに必要

綿菓子機	8件	ポップコーン機	6件
かき氷機	11件	輪投げ	13件
ポッチャ	21件	臼、杵、かまど等	4件
プロジェクター、スクリーン	15件	その他（紅白幕、机、椅子など）	1件

5. 相談援護事業

（１）各分野の相談事業の実施

①心配ごと相談（町助成事業）

毎月第1金曜日に実施しました。

相談件数：4件（前年度比 +4件）

②福祉と暮らしの相談窓口（社会福祉協議会）

住民の生活や福祉についてのアドバイスや情報提供を行うとともに、必要に応じて専門の機関につなげました。

相談件数：33件

- 生活福祉相談：15件
（生活福祉資金6件、緊急支援6件、日常生活自立支援3件）
- その他：18件

③介護相談（地域包括支援センター）

主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師により総合相談支援業務を行いました。

相談件数：延べ4,068件

（訪問：1,670件、電話：2,193件、来所：205件）

（２）生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託事業）

教育支援資金 2件

(3) 緊急援護貸付事業の実施

一時的に困窮している世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長を目的に資金を貸し付けました。

(緊急援護貸付者：7名)

(4) 成年後見相談事業の実施

①あしがら成年後見センター（中核機関）との連携

「あしがら成年後見センター」と連携して、一次相談窓口として取り組みましたが、相談はありませんでした。

6. 共同募金配分金事業

(1) 共同募金運動の実施

共同募金運動にかかわる町民、団体、事業所等と協力をしながら共同募金運動を実施しました。

◆赤い羽根共同募金

種 別	金 額	内 容
戸別募金	648,350円	各家庭に協力いただいた募金
法人募金	276,000円	賛助会員（事業所など）に協力いただいた募金
職域募金	31,059円	役場の職員の方々に協力いただいた募金
学校募金	22,959円	町内の小・中学校と山北高校に協力いただいた募金
街頭募金	39,754円	小田原百貨店及びコメリの店舗前で募金
募 金 箱	13,102円	役場や社協の窓口に設置した募金箱への募金
計	1,031,224円	

※上記募金額の約50%が配分され収入となる。

◆年末たすけあい募金

戸別募金：650,450円

(2) 共同募金配分金事業の実施

神奈川県共同募金会からの配分金をもとに各種地域福祉活動事業を行うとともに、町内の障がい関係施設・団体に配分を行いました。

◆赤い羽根募金配分金事業 配分金：530,800円

広報紙「社協やまきた」の発行、小地域サロン事業助成金など、地域福祉活動を推進する社会福祉協議会の事業費に充当しました。

◆年末たすけあい募金配分金：659,200円

・町内の障がい関係施設・団体に配分

NPO 法人 KOMNY やまなみ工芸 100,000 円

NPO 法人山北なないろ 100,000 円

・社会福祉協議会の事業費

地区福祉協議会助成金、紙おむつ給付事業、中学校の福祉体験学習、ボランティア育成など

7. 居宅介護支援事業

(1) 紙おむつ・尿取りパット給付事業の実施

低所得世帯の在宅で寝たきりになっている高齢者等を対象に、紙オムツ、尿とりパットを給付しました。

登録者数：2名

給付回数：延べ4回

(2) 移送サービス事業の実施（町受託事業）

一般の交通機関を利用することが困難な高齢者や障がいのある方の外出時の利便を図るため、病院等への送迎を実施しました。

実利用者数：18～28名／月

稼動回数：延べ330回

(3) 会食サービス事業の実施（町受託事業）

在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に、ボランティアグループ「ふきのとう老人お楽しみ会」と栄養士の協力を得て、バランスのとれた食事を提供し、安否確認を行うとともに、孤独感を和らげるために実施しました。

実施回数：22回

実利用者数：13名～20名／回

食数：延べ658食

(4) 配食サービス事業の実施（町受託事業）

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に、調理済みの食事（夕食）を提供し、安否確認を行うとともに、孤独感を和らげるため実施しました。

実利用者数：30名～36名／月

配食数：延べ5,145食

(5) 理容・美容サービス事業の実施

在宅の寝たきりの高齢者の方や理容店・美容院の利用が困難な障がい児者を対象に、町の理美容店の協力を得て、自宅に出張して散髪を実施しました。

利用者数：2名

利用回数：延べ5回

(6) 福祉車両貸出事業

日常生活において自力での移動に支障のある方の外出時に、車いすのまま乗降できるリフト付き自動車を貸し出しました。

利用者数：3名

利用回数：延べ9回

(7) 福祉機材貸出事業の実施

病気やケガなどで一時的に福祉用具が必要な方に、車いす等を一定期間貸し出すことにより、日常生活の便宜を図ることなどを目的に実施しました。

◆車いす：19件

◆ポータブルトイレ：7件

(8) 見守りネットワーク事業の実施

ひとり暮らし高齢者等を地域全体で見守っていくため、介護・福祉・医療・行政機関だけでなく、各団体や商店、金融機関等へポスターやチラシを置かせていただくなど呼びかけを実施しました。

8. 善意銀行事業

(1) 金銭預託

①一般寄付

山北町の福祉向上のために広く活用

11件 326,297円

(2) 物品寄付

タオル、おむつ、雑巾など 5件

(3) 善意の募金箱

山北郵便局、岸郵便局、かながわ西湘農協山北支店の窓口に、令和6年6月から「善意の募金箱」を設置していただきました。

募金額：8,322円

9. 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

判断能力が十分でない高齢者や障がいのある方などに対し、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用手続きの援助などを実施しました。

（認知症高齢者：8名 知的障害者：1名 精神障害者：3名 その他：3名）

10. 地域包括支援センター事業（町受託事業）

地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を総合的に支援するため、主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師の3職種を配置し、運営しました。

（1）総合相談支援業務

地域住民の高齢者に対する身近な相談窓口として、多様な相談を受けました。

相談件数：延べ4,068件

（訪問：1,670件、電話：2,193件、来所：205件）

（2）権利擁護業務

高齢者への虐待への対応、成年後見制度相談などを関係機関と連携して行いました。

虐待への対応：15回

成年後見制度相談：35回

消費者被害の防止相談：7回

（3）包括的・継続的ケアマネジメント業務

①町内ケアマネ会（7回／年開催）

町内居宅事業所との交流・情報交換を行いました。

②地域包括ケア会議（5回／年開催）

事例検討を実施し、課題解決や地域課題の抽出などを行いました。

③行政会議（4回／年開催）

行政関係者との情報共有及びケース会議を行いました。

④ケアマネ連絡会（1回／年開催）

居宅介護支援事業所や民生委員等関係機関、団体との連携を図りました。

⑤地域のケアマネージャーへの支援業務（485件）

同行訪問、認定調査の立ち合い、苦情処理等の支援を行いました。

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

介護予防が必要な高齢者が要介護状態となることを予防するため、適切な支援を行うとともに、介護予防教室の対象となる方の実態把握を行い、介護予防教室への参加を推進しました。

◆認知症に関する相談・対応：25件

◆介護予防教室利用に関する相談・対応：5件

(5) 認知症に関する取り組み

①認知症サポーター養成講座

町民が広く認知症を正しく理解し、認知症の人や家族が暮らしやすい地域をつくるために開催しました。

・6月12日（水） つぶらの公演管理事務所7名

②認知症サポーターステップアップ講座

認知症サポーター養成講座を受講された「認知症サポーター」の皆さまに、認知症をより理解していただき、認知症関連事業にボランティアとして協力していただくことを目的に実施しました。

・11月18日（月） 健康普及員30名

③認知症カフェ（ひだまりカフェ）

認知症の人とその家族の介護負担の軽減を図るため、緑茶カフェ「茶あぼう」において開催しました。

開催日	参加者	内 容
4月26日（金）	16名	歌謡とトークショー
5月24日（金）	16名	紙芝居（御殿場線物語）
6月28日（金）	12名	熱中症のお話しと御殿場線のお話し
7月26日（金）	14名	はなみずきさんによるダンス披露
8月30日（金）	名	ハーブ演奏（※台風のため中止）
9月27日（金）	12名	夏の疲れをとる軽い体操とストレッチ
10月18日（金）	20名	秦野陽だまりサークルによる腹話術
11月22日（金）	17名	ハンドケア
12月20日（金）	14名	今年良かったこと・印象深かったことのスピーチ
1月24日（金）	9名	猫背予防体操
2月28日（金）	10名	近況を話す

3月21日（金）	7名	屋内でもできる体操
----------	----	-----------

④認知症初期集中支援事業

認知症初期集中支援チームとの連携を図り、認知症の人とその家族の状況に応じたサービスが提供されるように努めました。

◆認知症初期集中支援チーム員会議 2回開催